



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 東亜ディーケーケー株式会社
コード番号 6848 URL <http://www.toadkk.co.jp/>代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
四半期報告書提出予定日 2019年8月7日(氏名) 高橋 俊夫
(氏名) 吉田 壽

TEL 03-3202-0211

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	3,333	△17.9	147	△59.0	168	△53.4	57	△72.0
2019年3月期第1四半期	4,058	31.3	359	101.7	361	95.7	204	179.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △26百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 129百万円 (△39.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	2.89	—
2019年3月期第1四半期	10.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	21,718	15,496	71.4
2019年3月期	22,793	15,841	69.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 15,496百万円 2019年3月期 15,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	16.00	16.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,650	0.6	2,050	3.4	2,100	2.6	1,400	5.9	70.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	19,880,620 株	2019年3月期	19,880,620 株
2020年3月期1Q	47,943 株	2019年3月期	47,943 株
2020年3月期1Q	19,832,677 株	2019年3月期1Q	19,832,754 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は同日に当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日～6月30日)におけるわが国経済は、雇用情勢や企業収益の改善を背景に緩やかな回復基調が続いています。海外においては、貿易摩擦問題・中国経済の減速懸念・英国のEU離脱等に関する不確実性などにより先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、計測機器市場につきましては、国内では企業の設備投資が堅調なことから回復が続いております。海外では、中国における排水モニタリング特需は収束したものの、アジア全体での環境規制強化に伴い旺盛な需要が続いております。また医療機器市場は国内外ともに拡大傾向にあります。

当社グループは、2019年4月から新たな3か年の中期経営計画をスタートさせました。「水・大気・医療・ガス」の4本柱でさらなる成長を目指し、世界で戦える品質・性能・コストを備えた製品開発投資など成長に向けた施策を積極的に進めてまいります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、4月1日付で連結子会社の東亜DKKアナリティカ株式会社を吸収合併し、化学工業や石油精製分野における設計・生産・営業の三位一体となった事業運営を強化いたしました。また、中国でのVOC商戦本格化を前に、中国最大の環境保護展(CIEPEC 2019)へ新製品を出展するなど、活発な受注活動を展開しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、前年同期の中国向け特需の収束による海外売上の減少により、売上高は3,333百万円(前年同期比17.9%減)となりました。利益につきましては、営業利益は147百万円(前年同期比59.0%減)、経常利益は168百万円(前年同期比53.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は57百万円(前年同期比72.0%減)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

<計測機器事業>

環境・プロセス分析機器分野では、国内では、主力の基本プロセス分析計や上下水道用分析計の販売は好調に推移したものの、海外では、昨年上期の中国における環境用水質分析計の特需の反動により輸出が大幅に減少したことなどから、当分野の売上高は前年同期比36.8%減となりました。

科学分析機器分野では、ラボ用分析機器の新製品発売キャンペーンを展開し、足元の売上には寄与しなかったものの、受注は好調に推移しました。また、医療関連機器の主要製品である粉末型透析用剤溶解装置は、消費税の動向を静観する状況が続きましたが、受注高は増加傾向にあります。これらの結果、当分野の売上高は前年同期比16.4%減となりました。

産業用ガス検知警報器分野の売上高は、国内外での販売が減少し、前年同期比16.0%減となりました。

電極・標準液、保守・修理及び部品・その他のアフタービジネス分野につきましては、電極・標準液の売上高は微減となりましたが、保守・修理及び部品・その他の売上高が伸び、全体では前年同期比0.9%増となりました。

以上の結果、当事業の売上高は3,267百万円(前年同期比18.2%減)、セグメント利益は291百万円(前年同期比43.2%減)となりました。

<不動産賃貸事業>

東京都新宿区の本社に隣接の賃貸ビル1棟ほかを所有し、不動産賃貸事業を行っております。当事業の売上高は66百万円、セグメント利益は41百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,074百万円減少の21,718百万円となりました。これは、たな卸資産が144百万円増加し、受取手形及び売掛金が883百万円、現金及び預金が220百万円、投資有価証券が133百万円それぞれ減少したことなどによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ730百万円減少の6,221百万円となりました。これは、短期借入金が244百万円増加し、未払法人税等が366百万円、電子記録債務が206百万円、賞与引当金が205百万円、未払金が182百万円それぞれ減少したことなどによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ344百万円減少の15,496百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期業績の見通しにつきましては、2019年5月8日に公表した業績予想に変更はありません。

なお、業績予想に修正の必要が生じた場合は速やかに開示させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,485	5,264
受取手形及び売掛金	5,603	4,720
電子記録債権	1,319	1,238
商品及び製品	1,031	1,163
原材料	801	815
仕掛品	742	742
その他	251	326
流動資産合計	15,234	14,270
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,525	2,504
機械装置及び運搬具(純額)	162	151
工具、器具及び備品(純額)	289	280
土地	1,750	1,750
リース資産(純額)	61	99
建設仮勘定	0	5
有形固定資産合計	4,789	4,793
無形固定資産		
ソフトウェア	71	72
その他	13	18
無形固定資産合計	84	91
投資その他の資産		
投資有価証券	1,927	1,794
繰延税金資産	379	416
その他	377	352
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,684	2,563
固定資産合計	7,558	7,448
資産合計	22,793	21,718

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,237	1,151
電子記録債務	627	421
短期借入金	430	674
リース債務	19	29
未払金	333	150
未払法人税等	460	94
未払消費税等	102	51
賞与引当金	293	87
役員賞与引当金	33	—
製品点検費用引当金	80	80
その他	305	504
流動負債合計	3,923	3,243
固定負債		
長期借入金	101	84
リース債務	50	88
長期未払金	148	148
長期預り保証金	358	361
役員退職慰労引当金	63	38
退職給付に係る負債	2,233	2,183
資産除去債務	74	74
固定負債合計	3,029	2,978
負債合計	6,952	6,221
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,842	1,842
資本剰余金	1,297	1,297
利益剰余金	11,861	11,601
自己株式	△11	△11
株主資本合計	14,989	14,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	977	885
退職給付に係る調整累計額	△126	△117
その他の包括利益累計額合計	851	767
純資産合計	15,841	15,496
負債純資産合計	22,793	21,718

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	4,058	3,333
売上原価	2,558	2,088
売上総利益	1,500	1,245
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	545	559
賞与引当金繰入額	42	43
退職給付費用	39	41
役員退職慰労引当金繰入額	8	1
貸倒引当金繰入額	0	—
減価償却費	29	19
研究開発費	106	85
その他	369	345
販売費及び一般管理費合計	1,141	1,097
営業利益	359	147
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	6
為替差益	—	2
保険解約返戻金	—	6
その他	4	8
営業外収益合計	10	24
営業外費用		
支払利息	1	1
債権売却損	0	0
持分法による投資損失	1	0
為替差損	4	—
その他	0	0
営業外費用合計	7	2
経常利益	361	168
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	—	0
リース解約損	—	0
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	361	167
法人税等	156	110
四半期純利益	204	57
親会社株主に帰属する四半期純利益	204	57

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	204	57
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△78	△92
退職給付に係る調整額	4	8
その他の包括利益合計	△74	△84
四半期包括利益	129	△26
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129	△26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	計測機器事業	不動産賃貸事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,994	64	4,058	4,058
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,994	64	4,058	4,058
セグメント利益	512	40	552	552

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	552
全社費用(注)	△193
四半期連結損益計算書の営業利益	359

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	計測機器事業	不動産賃貸事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,267	66	3,333	3,333
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	3,267	66	3,333	3,333
セグメント利益	291	41	332	332

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	332
全社費用(注)	△185
四半期連結損益計算書の営業利益	147

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。